



## 第2回管内指導主事・社会教育主事連絡協議会（令和4年9月27日）

### 大洗うみ・まちコミュニティスクール実践発表

#### —大洗の自然を学び、体験し、考えを深める—

大洗町では、コミュニティ・スクールを核として、北エリア（大洗小・一中）は東京海洋大学と連携した海洋リテラシー教育を、南エリア（南小・南中）は茨城工業高等専門学校と連携したSTEAM教育を推進し、さらなる特色ある学校づくりに取り組んでいます。

大洗町教育委員会学校教育課指導室の蒨実主任（社会教育主事）が、「大洗うみ・まちコミュニティスクール構想」について実践発表をしました。グループ協議では、「各市町村におけるコミュニティ・スクールの現状」について話し合いました。



漁体験・ライフセービング等の体験学習。町全体で海洋リテラシー教育を推進できる環境が整っている。



ランブシェードづくり（美術、理科、技術・家庭）。STEAM教育を推進できる環境が整っている。



大洗うみ・まちCS教職員研修会。海洋リテラシー教育とSTEAM教育の必要性を学ぶ。

「ただ体験するだけ」にとどまらず

#### <グループ協議を終えた感想>

大洗町らしい地域性を生かした取組が参考になった。地域の強みを生かした取組としたい。

地域が学校とともに子供たちを育てていこうという一貫した柱が明確で、テーマも地域に根ざして参考になった。

他学区とのつながりに課題がある点が共通だった。等



#### <参考>

○文部科学省コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査（2022年5月1日現在）によると、全国の公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入率は33.3%、本県の導入率は18.8%であり、全国平均を下回っている現状です。

○STEAM教育で教科横断的な学習  
S=Science（科学） T=Technology（技術）  
E=Engineering（工学） A=Art（芸術）  
M=Mathematics（数学）

※大洗町では、コミュニティとスクールを切らないため、「コミュニティ・スクール」を「コミュニティスクール」としています。

### 春夏冬話（あきない話） 「時短が流行っているらしい」



大学で対面形式の講義が再開されたことに伴い、90分授業が長すぎて苦痛を感じる学生が増えているという。好きな時間に、倍速で視聴が可能なオンデマンド形式の授業に慣れた身には、90分の講義は辛いらしい。映画も同様で、映画館で2時間の視聴は長すぎて途中で飽きてしまうので、〇〇〇プライムで作品を選び、退屈な場面は早送りしながら時短で視聴するのが好まれているという。

興味・関心を覚える部分だけを残し、それ以外の部分は切り捨ててしまう風潮には疑問を感じる。対面授業でディスカッションしたり、共同で作業を進めたりする内容を考えれば、90分は適正な尺だろう。小学生が45分頑張っているのだから、大学生の意地を見せてほしいものだ。せわしない世の中、映画ぐらいいはエンドロールまでじっくりと鑑賞し、余韻に浸ってみてはいかがだろう。

お薦めの作品 『英国王のスピーチ』 2010年アメリカ 1時間58分 時短視聴お断り (by Y・Y)